

1月は「ロータリー理解推進月間」です

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

横山 守雄



新年明けましておめでとうございます。

1月は「ロータリー理解推進月間」ですが、各クラブとロータリアンに推進いただきたいことが二つあります。その一つはクラブ会員に対してロータリーをより一層ご理解頂くための情報提供です。新入会員は入会時に、クラブ会長・幹事始め、ロータリー情報・規定委員や推薦者よりロータリー全体についての、そしてまたクラブについての一般的な情報提供を受けませんが、ロータリーのサービスの理念や真髓まで、なかなかいっぺんに理解出来るものではありません。

私は各クラブを訪問し、感じましたことは、クラブで新入会員や入会3年、或いは5年までの会員に対しロータリーに関する系統だった組織的な研修を行っているクラブは極めて少ないということでした。新入会員の勧誘は盛んに行われても、会員が一旦入会しますと、後は「適当に自分で勉強しなさい」というクラブが多いのではないのでしょうか。会員に対して適切なケアがないクラブでは、ロータリーの本質と真髓を理解することなく、2-3年で退会される会員がどうしても出てきます。

CLPを導入されているクラブの中には新たに「会員研修委員会」を設けておられるところがありますが、その様なクラブでは、入会された会員のためにも、また既存会員の退会防止・維持のためにも、しっかりとしたロータリー情報やロータリーの心についての研修が出来るようなシステムを構築されておられます。ロータリーの真髓をよく理解された会員が一人でも二人でも増えて行くことがクラブの強化と発展、そして世界理解・平和・親善へと繋がって行きます。

もう一つは、国際ロータリーも財団も、「ロータリーの公共イメージの向上」を近年重要な活動項目として取組んでいることです。現代社会では、企業にしても、奉仕団体やその他の組織にしても、自分達が行っていることを世間一般に広く発信、広報して行くことが、それぞれの組織のサバイバルと発展に欠かせないという考え方になっています。ロータリーも例外ではありません。皆様のクラブのいろいろな素晴らしい活動を是非一般社会に前向きに発信してください。世間一般の人々のロータリーに対する理解が深まれば、皆様のクラブの強化とイメージ向上に大いに役立つことになるでしょう。